



# こうごしま 議会だより No. 199

令和6年2月9日 発行／神津島村議会 編集／議会だより編集委員会 ☎ 04992(8)0011  
議会だより編集委員会 委員長 中村 親夫 副委員長 小林正吾郎 委員 清水勝彦 委員 鈴木佑典  
<https://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail [kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp](mailto:kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp)



議会ペーパーレス化に伴うタブレット導入  
令和5年第4回定例会(12月5日)

## 目 次

◇令和5年第4回定例会	2
第4回定例会議決結果	
◇令和5年第4回定例会	3
議員自主研修視察の報告	
◇令和5年第4回定例会	4～5
一般質問(2名の議員)	
◇令和5年第4回定例会	6
審議された議案の質疑応答	
◇令和5年第4回定例会	7
審議された議案の質疑応答、議会日誌、議会だよりアンケートのお願い	
◇島民インタビュー	8
古谷 亘さんインタビュー、編集後記	

## 令和5年第4回神津島村議会定例会 議決結果

開会日：12月5日(火)、12月6日(水)

議案番号	議 案 件 名	審議結果
議案第42号	神津島村常勤職員に対する給与条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	神津島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第44号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第45号	神津島村一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	神津島村税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	神津島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	東京都島嶼町村一部事務組合の共同処理する事務の変更及び東京都島嶼町村一部事務組合同規約の変更について	原案可決
議案第49号	令和5年度東京都神津島村一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第50号	令和5年度東京都神津島村簡易水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第51号	令和5年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第52号	令和5年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第53号	令和5年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第54号	令和5年度東京都神津島村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第55号	令和5年度東京都神津島村一般会計補正予算（第6号）	原案可決

## 令和5年度神津島村議会議員自主研修報告

日時：令和5年10月23日～26日

場所：東京都港区

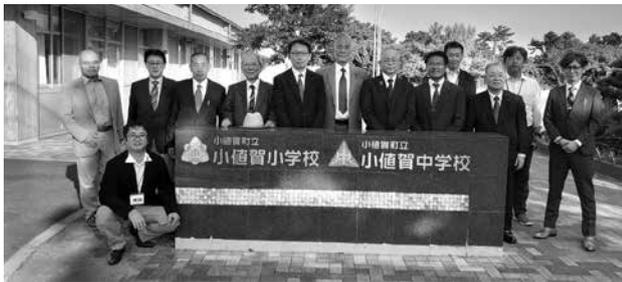
長崎県北松浦郡小値賀町

目的：ペーパーレス議会システム研修

小中高一貫教育について

神津島村議会議員 小林正吾郎

(幹事議員:1番 小林正吾郎 2番 清水勝彦)



10月23日より令和5年度の自主研修を行いました。

初日は島嶼会館会議室において、12月定例会からのタブレット導入に向け、タブレット本体の基本動作、ペーパーレス議会システムアプリ「サイドブックス」の操作方法について受講してきました。

こちらは昨年度も開催しましたが、改選後は初めてとなります。

翌24日より長崎県、五島列島の小値賀島へ向かいました。

長崎県北松浦郡小値賀町は大小17の島で構成され総面積は25.46平方キロメートル、人口は令和2年度で2,288人、高齢化率は令和2年度で50.8%とのことです。

小値賀町役場において、小値賀町議会より宮崎議長を始めとした4名の議員、小値賀町教育委員会より中村教育長、牧尾教育次長、神崎教育総務係長にご対応いただき「小中高一貫教育」についてお話を伺ってきました。

平成9、10年度に長崎県が立ち上げた島の活性化対策「『島』振興若者定着事業」の一環として、連携型中高一貫教育の研究が開始されたことがきっかけのようです。

さらに、平成11、12年度には文部省からの指定を受け、2カ年に亘って小値賀中学校と県立北松西高等学校による「連携型中高一貫教育」の

研究実践が行われ、平成17年3月に「小値賀地区小中高一貫教育」の研究を開始、平成19年度施行、平成20年度から本格実施。

児童生徒数が減少する中、教育水準の向上と、子供達の夢の実現に向けて、12年間の一貫した流れの中で様々な取組みを進める必要があったとのことでした。

小中高一貫教育の取り組みでは、小中高の教職員の教科における専門性を活かし、児童生徒の学力向上を図る「乗り入れ授業」、中学3年生が高校の学習方法を学ぶため、高校の教員が主となり授業を行う「つなぎ授業」、小学6年生と中学1年生と一緒に授業を行う「合同教科」が実施されており、行事においては小中高一貫合同遠足、小中高一貫海浜清掃、中高合同体育祭などが行われています。

また、小学6年生での議会見学、中学3年生での模擬議会、高校3年生での研究発表を行い、「知る」「問う」「提案する」をテーマに、議会を通して、全員参加型の系統化された「キャリア教育・ふるさと教育」で「地域探求」を深めているとのこと、この取り組みは村議会としても参考になるものでした。

町役場での説明会后、平成25年に完成した小中合同校舎を見学させていただきました。元々は小学校、中学校と別々の校舎だったそうですが、12年間を通した連続性、継続性のある教育活動の中で確かな学力の定着と郷土に根差した小中高一貫教育が平成20年度から本格実施となったことが合同校舎にした契機となったそうです。木造の明るく、暖かみのあるひらかれた雰囲気の校舎で、音楽室、理科室、保健室、図書室などは小中共用ゾーンとなっており、職員室は小中の教職員が一緒に部屋になっていました。

加えてふるさと留学(離島留学)も3年前から始められているようで、寮の見学も急遽させていただきました。小値賀町では小中学生が対象で、小学生はホームステイ、中学生は寮での生活をしています。今後は高校生の受け入れも検討されているとのこと、意見交換をしてきました。

## 一般質問

中村 親夫 議員



### まち・ひと・しごと創生法に伴う 第2次神津島総合戦略について

〔質〕—神津島村は、まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョンに基づいて、第1次神津島総合戦略の施策、評価、結果を見据えて、取り組みをさらに強化、発展させるとして、第2次神津島総合戦略を策定した。第2次神津島総合戦略の目的は、「本村の人口抑制」と「増加促進」である。村では人口の長期的な見通しを検討し、令和12年度（2030）、1,700人とした。第2次神津島総合戦略は、四つの基本目標と施策体系を掲げて取り組むとしている。基本目標の2の交流人口と関係人口の施策として、(2)若者の移住・定住の促進について、移住・定住のための相談対応を進めて、住居や仕事等のきめ細かな情報提供サポートを行って、移住者の受入れ態勢を整備する。空き家バンク制度の充実を図るとともに、定住化対策を充実させることで、移住希望者への積極的な支援を行うとしている。現在の空き家バンクの状況を村長に伺う。

〔答〕—神津島では、平成29年度より島内における空き家の有効活用を通じて定住対策の充実と住宅確保を図ることを目的として、神津島村空き家バンク制度を展開している。島内で空家を貸したい人、借りたい人の情報を公開している。借手で登録されている方が延べ26人あり、貸手の現在の登録者は5名となっている。借手、貸手の中で成立した案件が4件あるが、借手、貸手の登録数が少ない傾向である。島内では家を借りたくても借りることができないという住民の声を聞くように、村としても、島内住宅不足という課題があるという認識を持っている。今後も空き家バンク制度の有効的な運用を図っていききたい。

〔質〕—村が一般村民から借りている借家が16軒ほどで、そこには村職員が居住していると伺っている。移住者が神津島に来たくても来れない状況なので、十数世帯程度の居住ができる村職員住宅を建設することが必要ではないか。村長の所見を伺う。

〔答〕—村役場におきましては慢性的な職員不足となっていて、職員採用において住宅がないことから島外からの職員募集が行えなかった時期もありました。確実な役場職員の充足と安定的な行政運営のためにも、職員住宅の新たな確保が必要であるという判断の下に、先の9月定例議会におきまして、職員住宅建設の設計費を補正計上させていただきました。

今後の計画として、令和6年度と令和7年度、この2年間にわたって10世帯以上の規模で職員住宅を建設したいと考えている。

### 地域おこし協力隊の誘致について

〔質〕—神津島村第5次総合計画では、人づくりの推進の施策として、地域おこし協力隊の誘致を挙げている。地域おこし協力隊の募集を継続するとともに、各種の地域活動を支援しつつ、本島での定住につながるよう、受入れ環境の充実を図るとしている。地域おこし協力隊員は2019年4月以降、受け入れがない。今後、地域おこし協力隊員の誘致を図るべきではないか。村長の所見を伺う。

〔答〕—現在、本村において、地域おこし協力隊として活動している方はおりません。現在、募集もしていません。要因は、地域おこし協力隊が神津島に移り住み、移住・定住するための住居がない。村としても協力隊への住居確保に向けて努力しているところである。新しい職員住宅も選択し、これらも含めて、今後もあらゆる方向で住宅問題の解決に取り組んでまいりたい。協力隊の活躍場所の整備、そして協力隊の住宅の確保など、受け入れ体制を十分に整えた上で、必要な時期に誘致を行っていききたい。

## 一般質問

鈴木 佑典 議員



### 人口減少課題について

- ① 子育て環境整備・既存支援のアピール・ニーズ調査が重要。園庭改善や雨天時の整備、病児受け入れや延長保育、保育士確保と労働環境把握と改善。地域特性とニーズに合わせて調整し、既存支援と独自の強みをPRし、神津島で子育てをしたい。という施策を期待するが村長の所見を伺う。
- ② 必要な施設整備を随時行い、園庭の改修を協議。延長保育5時半まで51名園児中16名が利用。病児受け入れは専用スペース、看護師の配置、感染予防を考慮し未実施、今後の見通しを持って内部協議、関係機関と連携。保育士確保が課題である。
- ③ 生活支援と社会参加目的に補聴器購入補助について・子供の歯科矯正に係る交通宿泊費補助について伺う。
- ④ 出来る限り考えたいが、財政的な観点、対象の広範囲と線引き困難を考慮し、保険対象への補助を基準にと考える。
- ⑤ 独居高齢者の不安を理解しニーズ調査により、中長期的なサービスや共助のシステム構築が健康寿命延伸とQOL向上と考えるが村長の所見を伺う。
- ⑥ 民生児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター・理学療法士・看護師などによる見守り・月1回会議開催し情報共有と検討を実施している。福祉課窓口等、あらゆる機関で相談が可能。また中長期的には介護予防サービスの、あしたば体操、いくばあ会などの安定運営補助を行っている。
- ⑦ 人材不足課題に重要な空家予防対策として、「売る」「貸す」「使う」「解体」等の情報周知と明暗認識を促進し、調査と意識づけが重要と考えるが空家予防対策を伺

う。

- ⑧ 空家バンク制度や空家の改修費補助など、制度の情報発信が重要。Web・広報誌・納税通知書にチラシを同封し周知。柔軟に対応し、補助要綱を見直すなど住民の声を取り入れた制度改善。福祉協議会や他機関と連携し、住民の不安やニーズを見守り訪問などを通じて収集。住民に寄り添ったサポート体制を構築する。
- ⑨ 人手不足解消へ、移住希望ツアーや仕事と島暮らしの見える化・交流・PR事業が必要と考えるが村長の所見を伺う。
- ⑩ 職員募集を積極的に行い、住宅環境整備も進行中。移住・定住促進の一環として、ワーケーション体験ツアーを実施し好評。都との連携を強化し、移住・定住の促進を図る。
- ⑪ 多様で柔軟な働き方や協働を推進し、人材不足対応として地方公務員の兼業促進について村長の所見を伺う。
- ⑫ 職員不足状況から、兼業余力は現公務の執行を求む。職員充足・環境整い次第、地域発展や活性化に寄与する兼業を検討する。
- ⑬ 東京都教育長は、教育データの分析を通じ、小中高一貫した教育データの分析、適切な指導環境を検証し、島しょ地域独自の魅力的な教育を目指すと述べ、小中高一貫教育やオンライン学習、地域連携による独自の教育が魅力となり、郷土愛の醸成や移住定住の選択肢になると考えるが教育長の所見を伺う。
- ⑭ 小中高教育の一貫性やオンライン活用等により、学校連携や地域資源を活かした学びを強化。都内連携強化事業も進行中。郷土愛の醸成のため、郷土資料館の入館料改定や学校での地域資源活用を推進。児童・生徒数減少や教員不足にも柔軟に対応し、一貫教育構想を重視する。

## 令和5年第4回神津島村議会定例会

## ◎ 審議された議案の質疑応答 ◎

## 議案第42号「神津島村常勤職員に対する給与条例の一部を改正する条例」

- 〔質〕—給料の規定で令和5年4月から適用するとあるが、今までの給与との差額分の支給方法はどうか。
- 〔答〕—4月に遡った上で今までの差額分を12月分の給料で支払う。
- 〔質〕—在宅勤務手当で住居その他これに準ずるものがあるが、どういう場合を想定しているのか。
- 〔答〕—在宅勤務をする上で、自宅の他、サテライトオフィスなどで勤務していた場合が考えられる。
- 〔質〕—今回の条例で主幹職をなくす理由は何か。
- 〔答〕—東京都等の指示による管理職の人数制限のため、現職の主幹職が不在となった機会に乗じて条例で主幹職を外した。

## 議案第46号「神津島村税条例の一部を改正する条例」

- 〔質〕—軽自動車税の環境性能割の賦課徴収の特例の中で、企業による不正行為があった場合の罰則とは、具体的にどういうことを指すのか。
- 〔答〕—自動車メーカーが排気量を偽って登録した場合は、税額が変わるため、罰則として、その差額分に10%上乗せをした課税率をかけていたものを今回の改正で35%に上げる。
- 〔質〕—税条例改正で、復興税が森林環境税に変わることで、住民への何か影響があるのか。
- 〔答〕—神津島村で森林環境税が導入された場合、例として、村の森林を守るため松くい虫の対策経費等に充当し、島の森林の保全に努めることを考えている。

## 議案第47号「神津島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

- 〔質〕—通常の出産の場合は4ヶ月の減免、多胎児の場合は6ヶ月減免となっているが、免除ではないのか。また、死産・流産・早産の場合も含むと聞いているが、ホームページ上で分かりやすく周知することは考えているか。
- 〔答〕—4ヶ月の場合も6ヶ月の場合もすべてが免除にならない場合もあるため減額という表記としている。また、該

当となる住民の把握ができていないため、個々に説明することを考えている。

## 議案第48号「東京都島嶼町村一部事務組合の共同処理する事務の変更及び東京都島嶼町村一部事務組合同規約の変更について」

- 〔質〕—今回の規約の変更で追加された第7号(児童手当及び児童育成手当)と第8号(給与事務)の共同で処理する事務に神津島村が入っていないがその理由は何か。
- 〔答〕—ワーキンググループ会議を開き、分科会で検討した結果、住民サービスの維持、向上、費用負担、職員負担の軽減につながらないと判断したため参加していない。ただし、今後の状況によっては参加を検討する場合もある。

## 議案第49号「令和5年度東京都神津島村一般会計補正予算(第5号)」

- 〔質〕—島嶼モバイル通信ネットワーク環境整備工事が中止になった理由は何か。
- 〔答〕—携帯電話会社4社、全てが事業に参加しないことを表明した結果、事業を断念した。
- 〔質〕—清掃センター付近は、どの携帯電話会社も不感地域のはずだが、どの携帯電話会社も参加しないのか。
- 〔答〕—携帯電話会社も企業として費用対効果を考えるため、通信利用者数の少ない地域は、基地局を設置できない地域となる。
- 〔質〕—公有財産購入費が275万5千円の減額とあるが、その場所と理由は。
- 〔答〕—場所は、農道柑が沢線、道路排水の浸透池の用地。用地買収の手続をしていたが、地権者等の諸事情によって継続的に借地をお願いしたいとの意向があった為、引き続き借地として対応し、公有財産購入費を減額した。
- 〔質〕—農業用水施設改修工事、桑沢・高根地区の、1,017万円ほどの追加と、焼山地区の759万円の減額の理由は、また双方の関連はあるか。
- 〔答〕—桑沢地区に設置してある農業用水のポンプが経年劣化により、新たに別の場所に新設する工事が追加された。また、焼山地区の工事と桑沢・高根地区の工事は、一つの補助事業として計画されており、今年度分の全体総事業費は、変更できないため焼山地区を減額し調整した。焼山地区の減額分は、来年度で調整を図る。

〔質〕—農業施設消防設備改修工事の内容は。

〔答〕—農協の建物の消防設備が9月の点検の際に不備が見つかった為、補正対応で改修工事を追加。

〔質〕—戸籍情報システムと附票システムの減額の理由は何か。

〔答〕—今年度実施の計画を来年度に変更した為、5年度予算を減額し、6年度当初予算で計上する。

〔質〕—シェアサイクルの実証実験の評価はどうだったか。また、次年度の予定はどうなっているか。

〔答〕—細かい数値等はまだ出ていないが7月、8月の繁忙期だけで想定していた以上の結果になった。今後もシェアサイクルの導入に向けての働きかけ行いが、既存業者の商売もあるため、既存業者との兼ね合いも含めて、現在、地域公共交通会議等で検討している。

〔質〕—結核・肺がん検診の受診者というは何名か。

〔答〕—結核検診が予算計上60名に対して実績85名、肺がん検診が予算計上120名に対して実績94名、喀痰細胞検査が予算計上120名に対して実績7名。

〔質〕—インセンティブを用いた健康づくり事業は、実施時期が9月の暑い時期でなく他の月に実施できなかった理由は。また、参加人数は何人か。

〔答〕—196名が参加。10月以降となると日が落ちるのが早くなるという関係で9月に実施した。

〔質〕—商工費の委託料、閑散期観光対策事業委託料100万円は、どのような内容か。

〔答〕—夏の繁忙期に大型船が故障等で運行できなかったことを踏まえ2等席の割引で運行をしていることから、閑散期の誘客ツアーの補助金の追加と、地域振興計画の策定に係る委託料を追加した。

〔質〕—誘客ツアーは何名を誘客する目標か。また、ツアーの内容はどういうものか。

〔答〕—1人当たり5千円で67名を予定。ツアーの具体的な内容は、まだ決まっていない。観光協会等で計画するツアーに対しての補助金（委託料）。

〔質〕—精神保健福祉費、補正前の額531万6千円に対して412万円の減額の理由は。

〔答〕—保健師1名に対する予算で、たえず募集等を行っていたが、2月まで採用が決まらなかったため、職員欠員による減額。

本来保健師が行うべき業務については、現在、看護師1名と臨時で定期的に来島する臨時保健師に指導を受けながら対応している。

〔質〕—よっちゃーれセンターサッシ改修工事で臨時休業等の影響があるか。

〔答〕—休日を利用して工事を実施するか、2階食堂部分のみ休業にするか検討中。

## 議会日誌

令和5年

9月6日 令和5年第3回定例会（開会）

28日 令和5年第3回定例会（閉会）

15日 令和5年度神津島村敬老会

24日 令和5年度やすらぎの里敬老会

30日 中学校運動会

10月14日 小学校運動会

16日 三島交流会開催に伴う都庁各部局訪問・要望活動

17日 千代田区長・区議会議長表敬訪問

21日 第46回村民大運動会

23日 議員研修視察（長崎県北松浦郡小値賀町27日まで）

28日 多摩東京移管130周年記念式典

11月7日 東京都島しょ町村議会議長会第2回臨時総会

8日 東京都町村議会議長会先進町村議会視察（鳥取県琴浦町議会 9日まで）

10日 島嶼町村一部事務組合第1回臨時会 令和5年度佐久市農業祭（11日まで）

15日 議会だより編集委員会

18日 第21回健康福祉まつり

22日 村制100周年記念友好都市関係夕食懇親会

23日 村制100周年記念式典 第30回商工産業まつり

28日 第41回離島振興市町村議会議長全国大会

29日 第67回町村議会議長全国大会

12月1日 議会運営委員会

議会だよりアンケートにご協力をお願いします

〈回答方法〉

右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。

〈回答期限〉令和6年3月29日（金）



島民  
インタビューFull-Earth/ フルアース代表  
古谷 亘 さん

2018年3月から居住



## プロフィール 古谷 亘

茨城県坂東市出身、新潟県の専門学校にて自然環境保全を学び、小笠原父島のネイチャーガイドインターンシップ体験を機に就職/離職後、国内外オーストラリアや特にニュージーランドのテカポにて星空ガイドとして経験を積む。

現在、ネイチャーガイド(主に天上山、星空ガイド)・冬季は酒造の仕込み手伝いをしつつ、妻と共に娘(1歳)の子育てに奮闘中。エコツーリズム推進協議会 会長。

## Q. 神津島に居住した理由は？

地元近く、ネイチャーガイド経験を活かせる地域を探しているなかで、神津島の豊かな自然と住民の温かさに惹かれ、夫婦で移住を決めました。同時期の星空観光推進も大きな理由です。

## Q. フルアースではどのような事業を？

数少ない陸域ガイドとして、来島者へ神津島の自然や伝統文化の魅力を伝える役割を担っていると思っています。また、島外の研究者の調査や研究への積極的な協力と、個人でも希少動植物の保全活動に努めています。

## 編集

新年早々の能登半島大地震災害、羽田空港の航空機事故等、波乱の年明けとなりました。

## 後記

被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げます。

私たちの島も平成12年に神津島新島近海沖地震により、島のいたるところで土砂崩れや道路の亀裂等の災害を受け、身動きの取れない期間を経験しました。

神社本殿も土砂につぶされ、特養ホームも孤立し、職員が執務のため山道を徒歩で往復をしたり、山越え

## Q. 神津島の魅力について？

移住を決めた二点の理由(豊かな自然、そして住民の温かさ)に尽きます。

国内でも特異な環境を擁する天上山、全国トップクラスの暗さを誇る星空、時折ウミガメが顔を覗かせる美しい海等々、小さな島なのに地球の偉大さを身近に感じる事が豊かな自然の魅力だと思います。

一方、小さなコミュニティならではの人付き合いも心地よいです。「困ったときはお互い様」の精神を持っている方が多く、私自身何度も助けて頂いています。ガイド業を営む私にとって、自分のお客様に対してもお困りの際は収益抜きで対応することがあります。

来島者にも住民の温かさを感じて欲しい、その気持ちで接客を心掛けています。

## Q. どのような課題を感じますか？

島の日常である自然や何気なく感じている伝統文化が、実は貴重で価値あるものだとことを皆さんに感じて欲しいです。子供たちにとって当たり前の天の川が、本土では特別なことだと伝えたいです。

島が抱える人口減少の問題については、単に移住者を呼び込むのではなく、島の子供達がまた島に戻りたくなるような郷土愛を育む教育やイベントなどの環境整備が必要ではないかと思います。

## Q. 神津島の未来について？

引き継がれてきた伝統文化や豊かな自然を大切に思う気持ちを各々が持ち合わせ、これからも次世代に伝えられる島になって欲しいです。

一度は島を離れるであろう子供達も、自分が生まれ育った神津島を誇りに思って、いつかは島に戻ってこようと思ってくれたら嬉しいです。

による物資の運搬等を余儀なくされたりした記憶がよみがえります。

災害はいつ来るか誰にもわかりませんが、普段から心構えをしなければとの思いを強く致しました。

今後、村民にとって神津島が何事もなく暮らしやすい島であり続けることを願っております。

「議会だより」  
編集委員会  
一同

委員長 中村 親夫  
副委員長 小林 正吾郎  
委員 清水 勝彦  
委員 鈴木 佑典